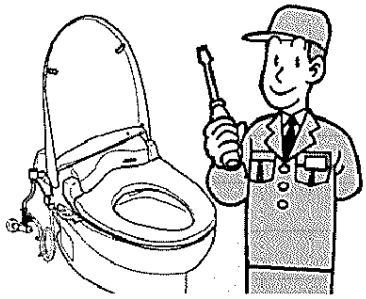
National

ビューティ・トワレ



設置工事説明書

エシェル用

温水洗浄便座

品番 CH45M2・CH45M3

● イラストは異なる場合があります。

1 安全上のご注意 必ずお守りください

● 工事開始前に必ずお読みください…

安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	⚠注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない

水場使用禁止

感電や火災の原因となります。

D種接地工事を行う

アース線接続

アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

● 漏電しゃ断器のプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

● 設置工事は、設置工事説明書に従って確実に行う

説明書に従って行わないと、水もれ、火災、感電の原因となります。

● 設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する

指定の部品を使用しないと、水もれ、火災、感電の原因となります。

● 電気工事は、内線規程に従って施工する

内線規程に従わないと、火災、感電の原因となります。

● 定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因となります。

● 必ず上水道に接続する

ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因、または異物の混入などで配管がつまり、故障の原因となります。

● 電源コード、漏電しゃ断器のプラグを破損するようなことはしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

⚠注意

● 水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う

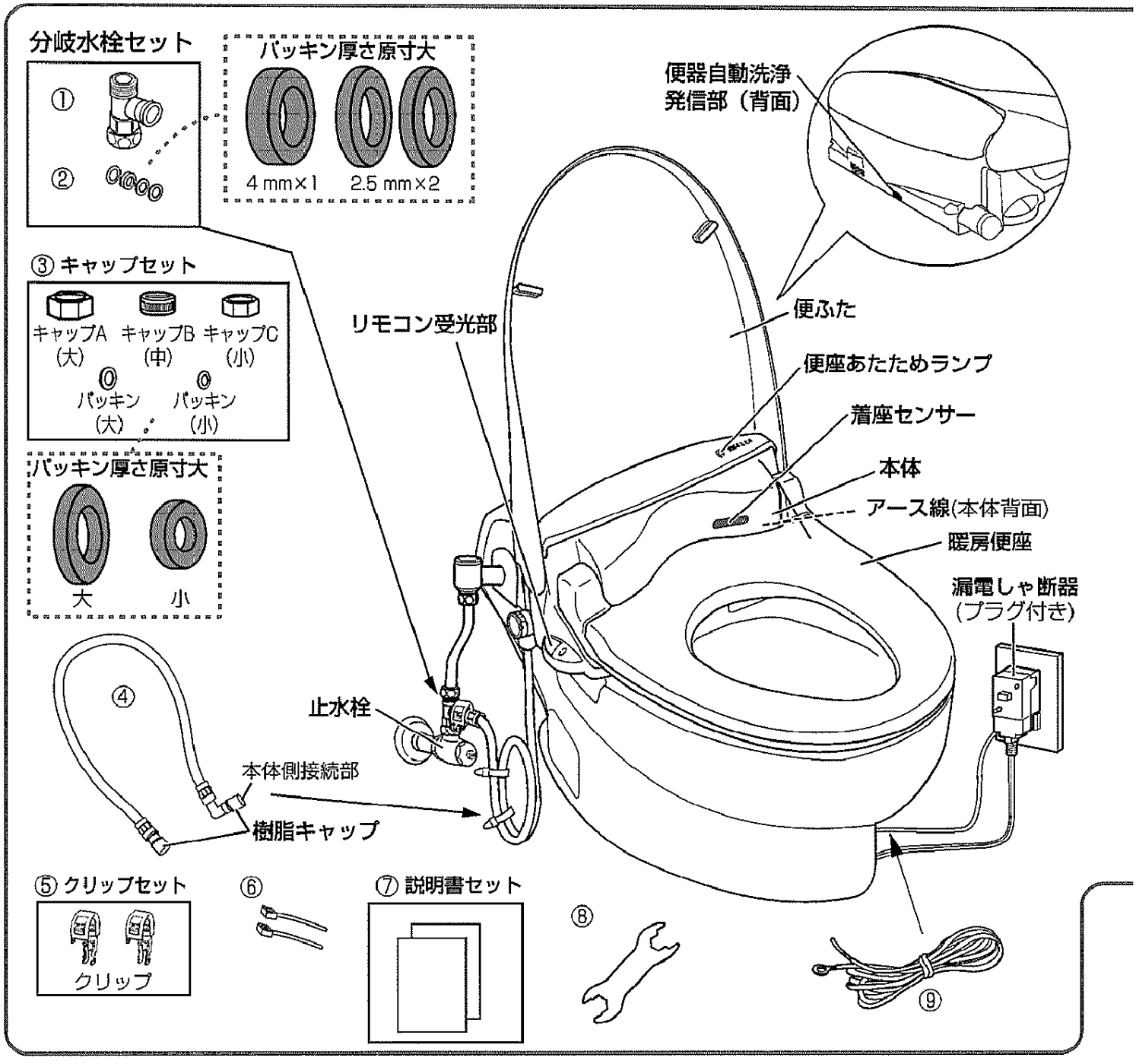
条例に基づいて行わないと、水もれの原因となります。

● 移動や設置時、本体を持つ

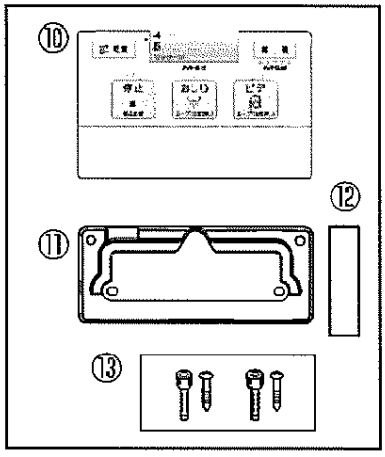
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

DL949A-GADP0
S0406-0

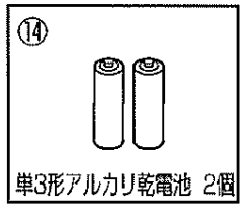
2 各部の名前と同梱部品



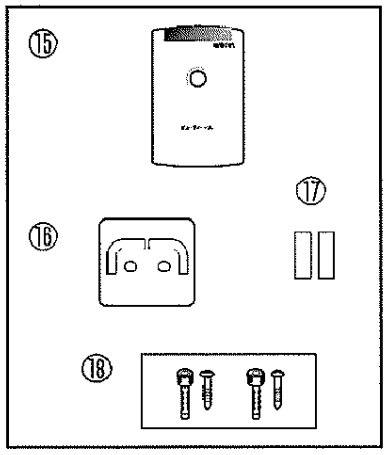
リモコンセット



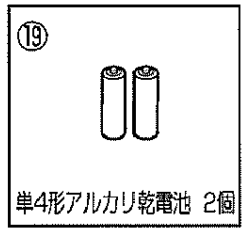
乾電池セット（リモコン用）



人体センサーセット



乾電池セット（人体センサー用）



番号		部品名	部品品番	数量
①	分岐水栓セット	分岐水栓	DL531A-GW200	1
②	分岐水栓セット	パッキンセット（薄い:黒2.5 mm厚さ×2 / 厚い:黒4 mm厚さ×1 / スリップワッシャー(白)×1）	DL531A-GW200	1
③	キャップセット	キャップ（キャップA（大）×1 / キャップB（中）×1 / キャップC（小）×1）	DL542A-X9JS2	1
③	キャップセット	パッキン（大:黒2.5 mm厚さ×1 / 小:黒2.5 mm厚さ×1）	DL542A-X9JS2	1
④		給水ホース	DL432A-G2DS0	1
⑤		クリップセット（クリップ×2）	DL792A-GW2S0	1
⑥		結束バンド	−	2
⑦		説明書セット	−	1
⑧		スパナ	ADL972AS1JB0	1
⑨		アース線	ADL193AI2IB0	1
⑩	リモコンセット	リモコン	−	1
⑪	リモコンセット	リモコンホルダー	−	1
⑫	リモコンセット	両面テープ	−	1
⑬	リモコンセット	取付ねじセット	−	各2
⑭		乾電池セット（リモコン用）	−（単3形アルカリ乾電池）	−
⑮	人体センサーセット	人体センサー	−	1
⑯	人体センサーセット	センサーホルダー	−	1
⑰	人体センサーセット	両面テープ	−	2
⑱	人体センサーセット	取付ねじセット	−	各2
⑲		乾電池セット（人体センサー用）	−（単4形アルカリ乾電池）	−

部品の再購入は、お買い上げの販売店へご注文ください。

必要な工具

ドライバー⊕⊖　モンキーレンチ(250mm)　プライヤー

3 取り付け前のご注意

お願い

本体の取り付けが完了するまで漏電しゃ断器のプラグをコンセントに差し込まない

故障の原因となります。

- 使用水圧範囲は69～735 kPa {0.7～7.5 kgf/cm²} です。
- 本体内の残水が凍結している場合は、暖かい部屋に放置し融かしてから設置する。
- 必ず同梱の分岐水栓をご使用ください。

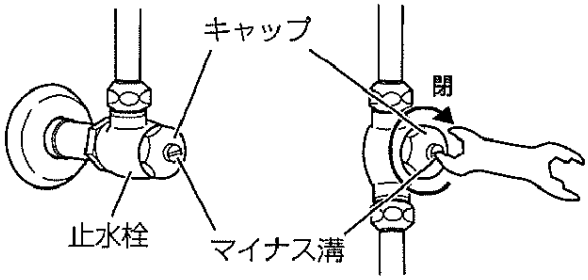
4 設置のまえに（つづき）

1 止水栓の確認

止 水 栓 の 確 認 （止水栓により工事方法が異なるため）

タイプ

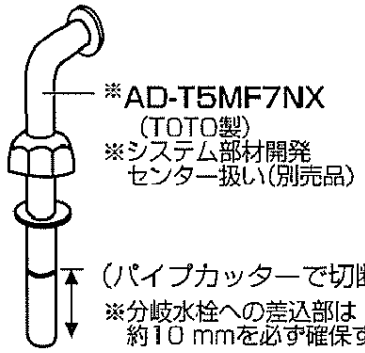
マイナス溝タイプ



分岐水栓の取り付け 5 ページへ

タイプ

寒冷地用の給水管（止水栓なし）から給水する場合



分岐水栓の取り付け 8 ページへ

5 取り付けかた（つづく）

1 分岐水栓の取り付け（4ページに従い、タイプを確認）

イラストはマイナス溝タイプで説明しています。

●同梱のスパナをご使用ください。

まず確認！！

止水栓の確認
（止水栓により工事方法が異なるため）

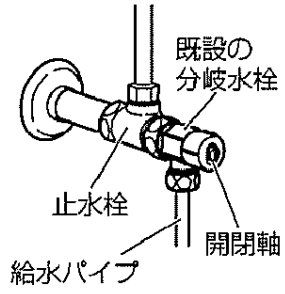
新規設置の場合

7ページ

取り替えの場合

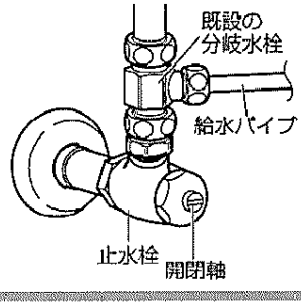
タイプ

Ⓐ 分岐水栓がそのまま取り付けられている場合



5ページ

Ⓑ 分岐水栓が組みかえて取り付けられている場合

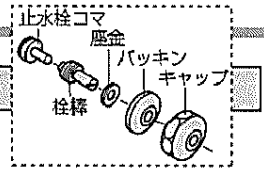


6ページ

分岐水栓の

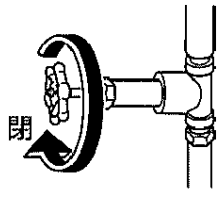
Ⓐ

右の部品が保管されている場合→

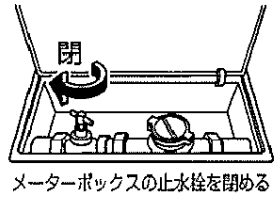


❶ 水道の元栓を閉める

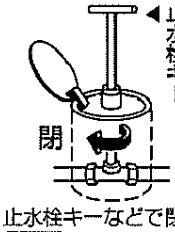
- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。



一般的なマンションの場合

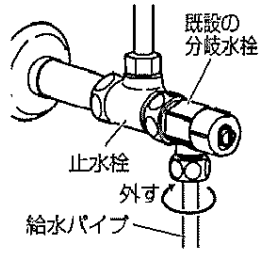


水道メーターと一体になった元栓の場合

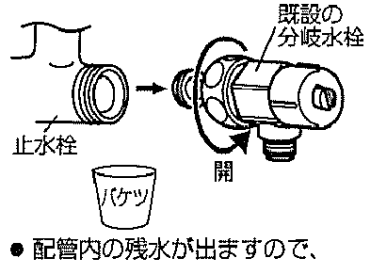


埋込み式の元栓の場合

❷ 給水パイプを外す

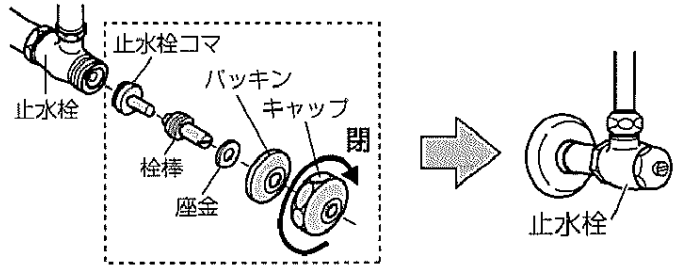


❸ 既設の分岐水栓を止水栓から外す



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❹ 止水栓を元にもどす



- [----]の部品は、お客さまが保管されているものをお使いください。
- 部品をなくされた場合は、6ページの 部品がない場合 を参照に工事してください。

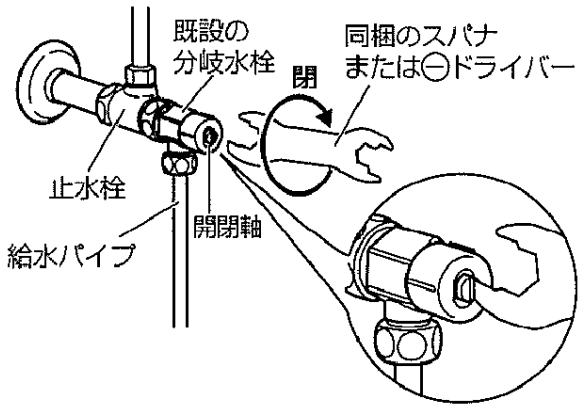
7ページ 新規設置の場合 へ

取り替えの場合

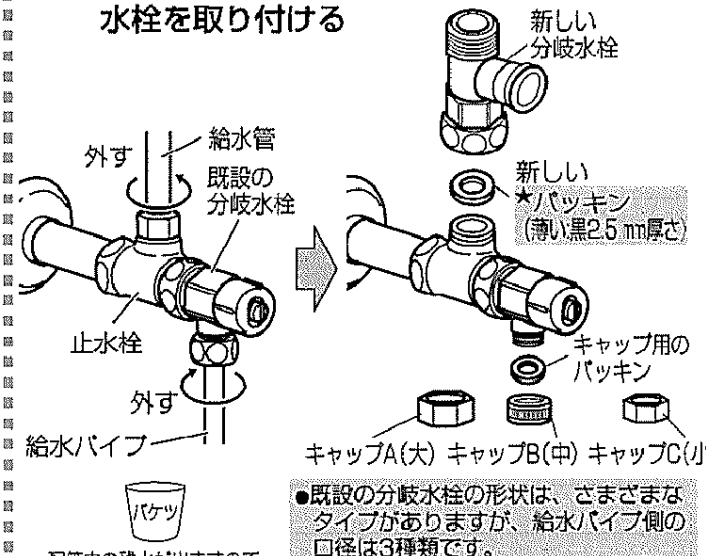
取 り 付 け （既設の分岐水栓の種類により異なります）

部品がない場合

❶ 止水栓が閉まっていることを確認する



❷ 給水管と給水パイプを外し、新しい分岐水栓を取り付ける



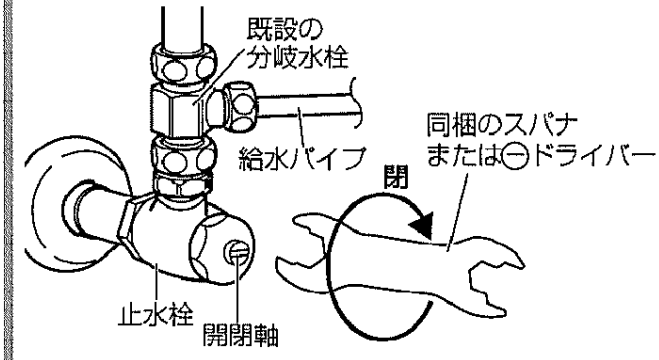
● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

●既設の分岐水栓の形状は、さまざまなタイプがありますが、給水パイプ側の口径は3種類です。
●口径に合わせてA,B,C3種類のキャップ、大小2種類のパッキンから合うものを選んでください。ただし、既設の分岐水栓にパッキンが付いている場合は、同梱のパッキンは使用せず、そのままキャップを取り付けてください。
●キャップは手でしっかりと締め付けてください。

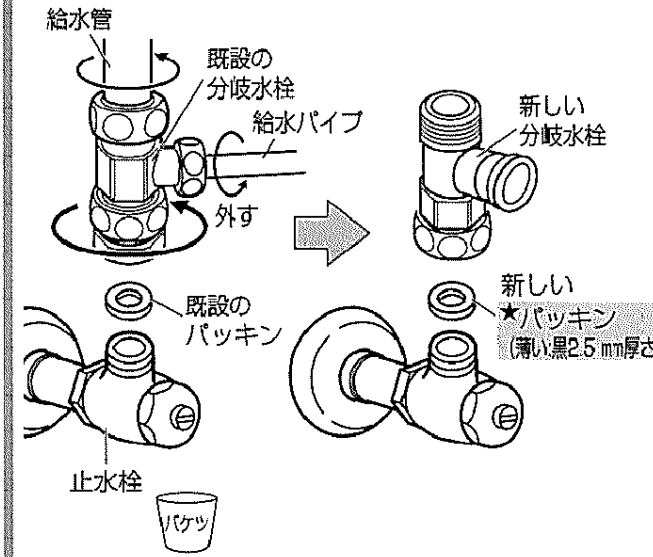
7ページ❸へ

B

❶ 止水栓が閉まっていることを確認する



❷ 給水管と給水パイプを外してから、既設の分岐水栓を外し、新しい分岐水栓に交換する



● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

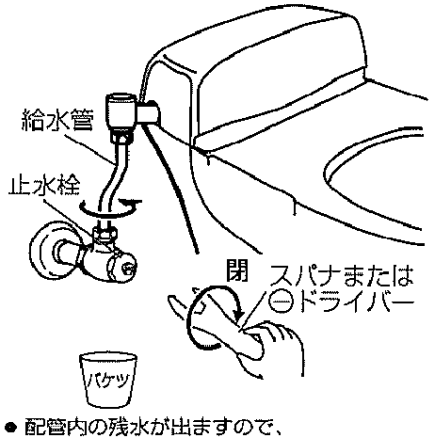
7ページ❸へ

★は、2ページ③の同梱部品です。

新規設置の場合

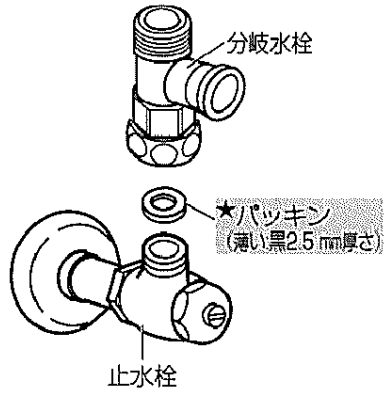
分 岐 水 栓 の 取 り 付 け

❶ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



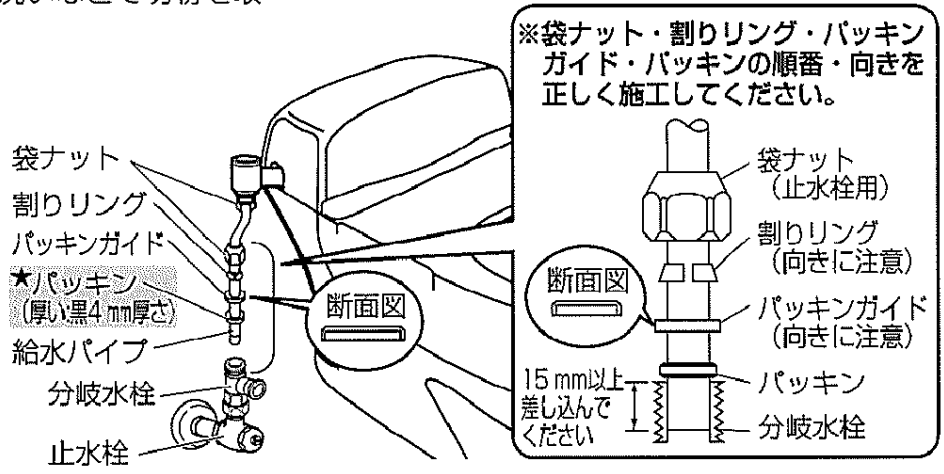
● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❷ 分岐水栓を止水栓に、取り付ける



❸ 給水管を取り付ける

● 給水パイプの切断はパイプカッターを使い、切断後は水洗いなどで切粉を取り除いてください。



※水道の元栓を閉めた場合は開けてください。

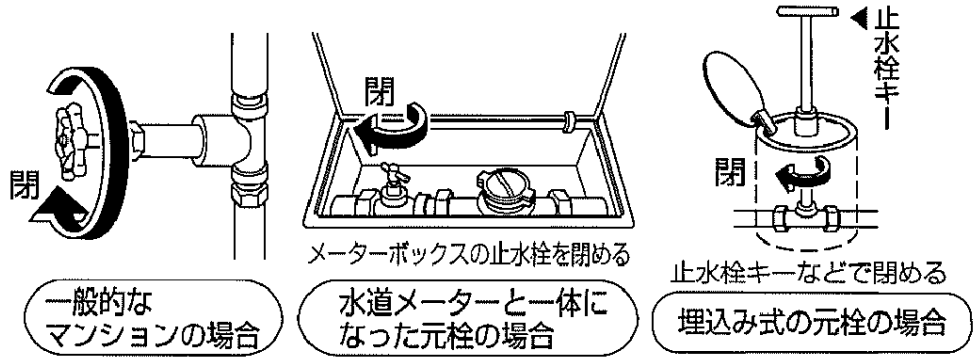
8ページ 2 へ

★は、2ページ③の同梱部品です。

寒冷地用の給水管（止水栓なし）から給水する場合

水道の元栓を閉める

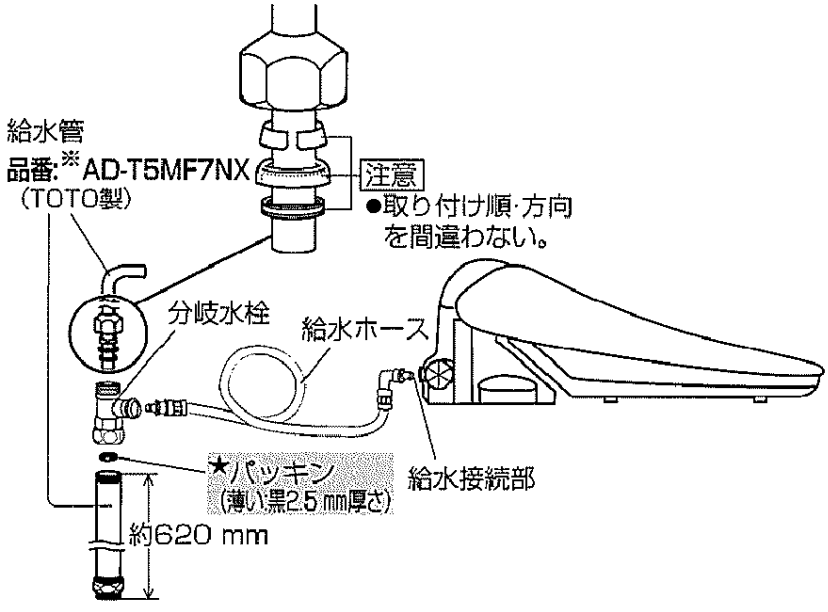
- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。



一般的なマンションの場合

水道メーターと一体になった元栓の場合

埋込み式の元栓の場合



★は、2ページ③の同梱部品です。※は、システム部材開発センター扱い（別売品）です。

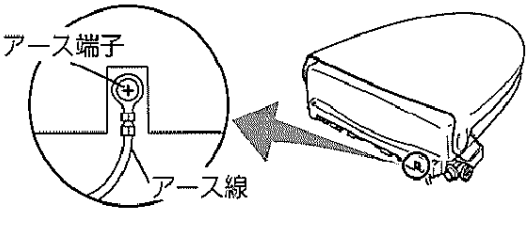
2 アース線の接続（本体側へ）

⚠警告

アース線接続

本体のアース端子にアース線を取り付ける

アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。



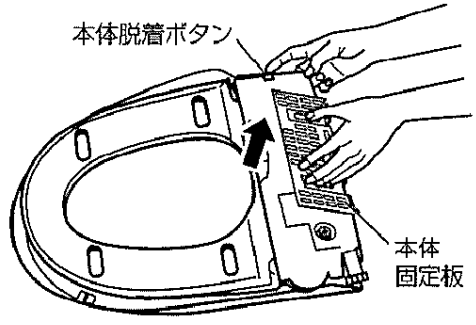
5 取り付けかた（つづき）

B エシェルへの取り付け

❶本体固定板の取り外し

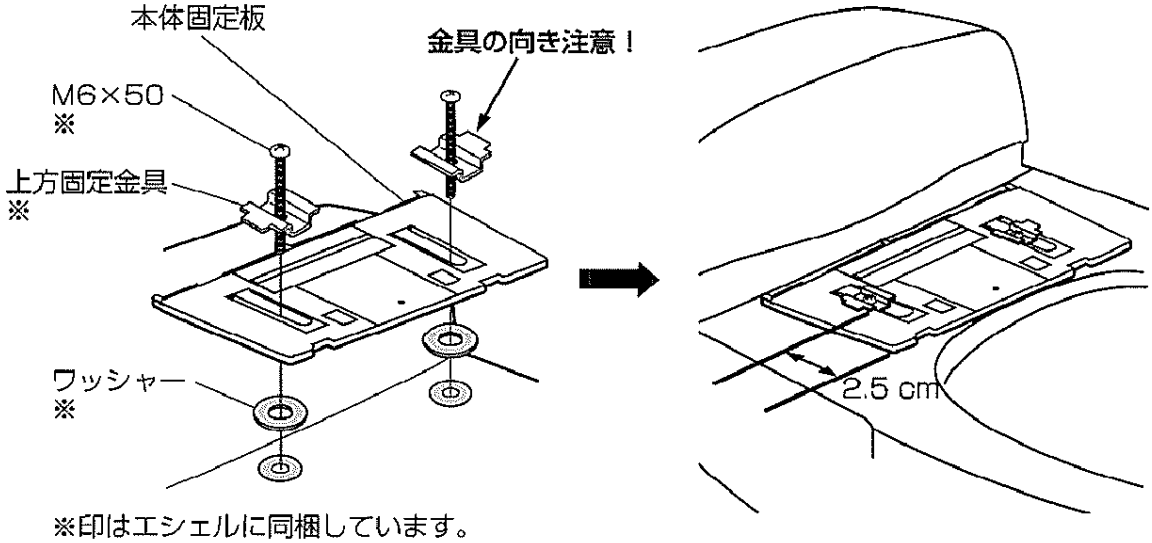
本体底部より本体固定板を取り外す。

- 本体脱着ボタンを押しながら、本体固定板を持ち上げる。



❷上方固定金具と本体固定板を便器に仮固定し、本体固定板の先端から金具まで2.5 cmのスペースを設け、ねじをプラスドライバーできつく締め付ける

〈締め付けが弱いと本体がガタツキます〉

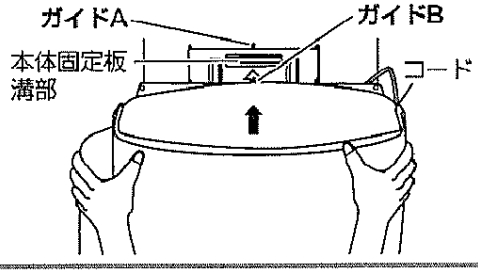


※印はエシェルに同梱しています。

❸本体の取り付け

本体側ツバ部を本体固定板溝部に挿入するため、下図のようにガイドAにガイドBを合わせ、手前を持ち上げながらカチッと音がするまで押し込む。

- コードを本体と便器の間に、はさみ込まないようにしてください。
- 本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。



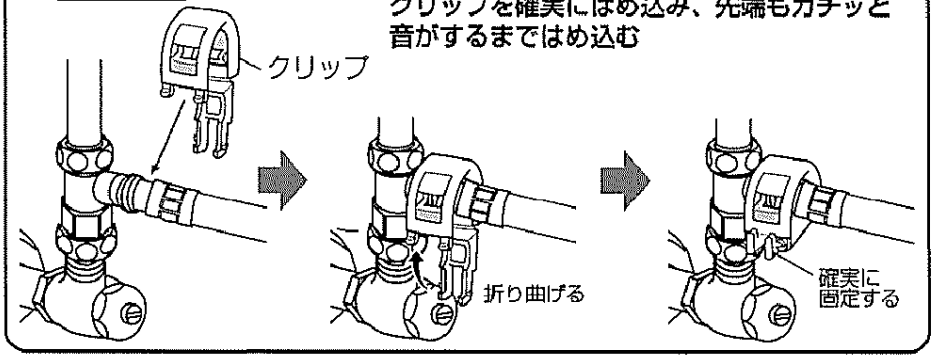
4 給水ホースの接続

❶ 分岐水栓への接続

1.分岐水栓の接続部を給水ホースの接続しやすい方向に向ける。
2.給水ホースの両端の樹脂キャップを外し、分岐水栓の接続部にまっすぐ差し込む。
3.分岐水栓と給水ホースの接続部をクリップで確実に固定する。

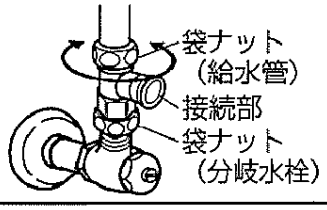
正しい接続

クリップを確実にはめ込み、先端もカチッと音がするまではめ込む



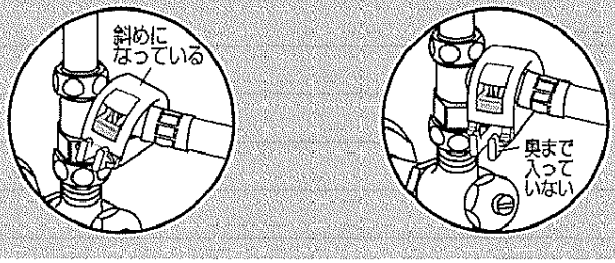
分岐水栓の接続部の方向を変えるときは

1.袋ナット(給水管)をゆるめる
2.袋ナット(分岐水栓)をゆるめ、接続部を給水ホースに接続しやすい方向にする
3.袋ナット(分岐水栓)をしめる
4.袋ナット(給水管) をしめる



悪い例

※確実にはめ込まないと水漏れの原因となります。



給水ホースが長い場合は、本体が脱着・移動可能なように長さを調節し、ループ状に結束してください。
(小さく曲げると折れて水の流れが悪くなる恐れがありますので注意してください：最小曲げ半径 約10 cm)

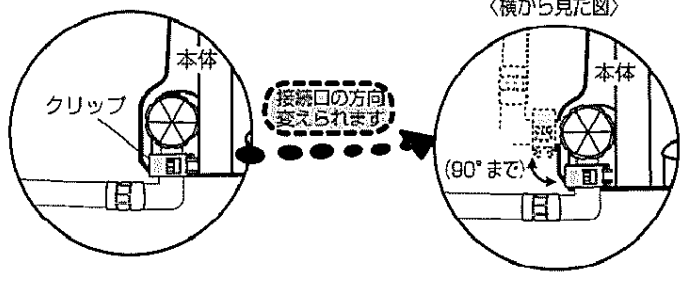
ご注意

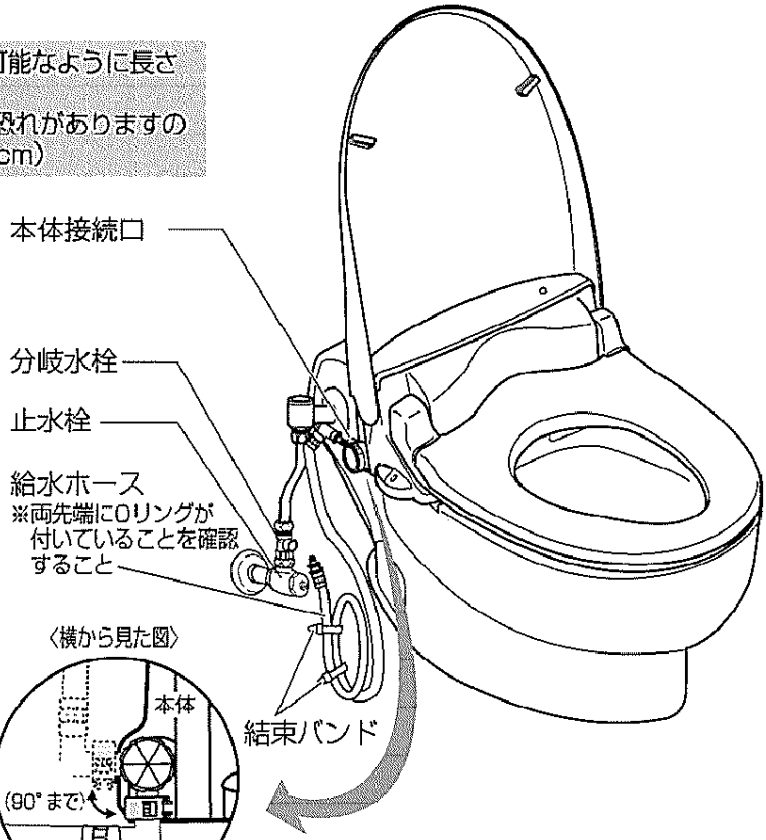
- ●給水ホースは切断しない
- ●給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
- ●付属の結束バンド以外で結束しない

❷ 本体への接続

1.給水ホースを本体接続口にまっすぐ差し込む。
2.クリップを給水ホースと本体接続口に差し込みます。

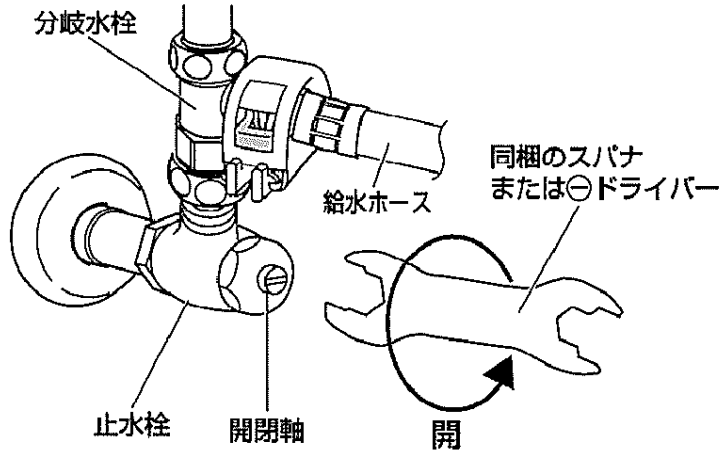
分岐水栓と同様に、クリップは確実にはめ込む（右上図）





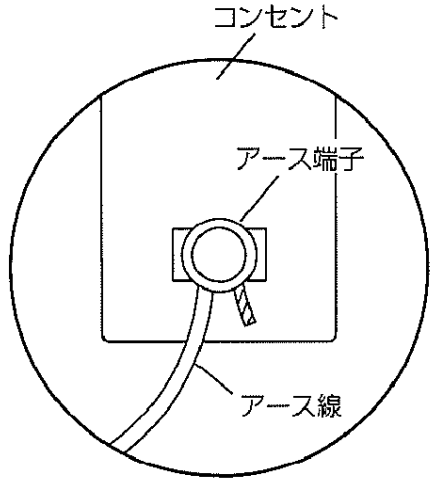
5 止水栓の調整

●水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
●開閉軸を十分開いてください。
●試運転で給水ホースの振動や、大きい給水音が発生する場合は、開閉軸を絞って調整してください。



6 アース線の接続（コンセント側へ）

⚠警告	アース線接続	コンセントのアース端子にアース線を取り付ける アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

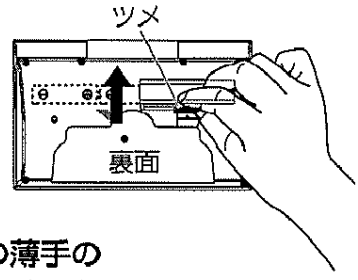


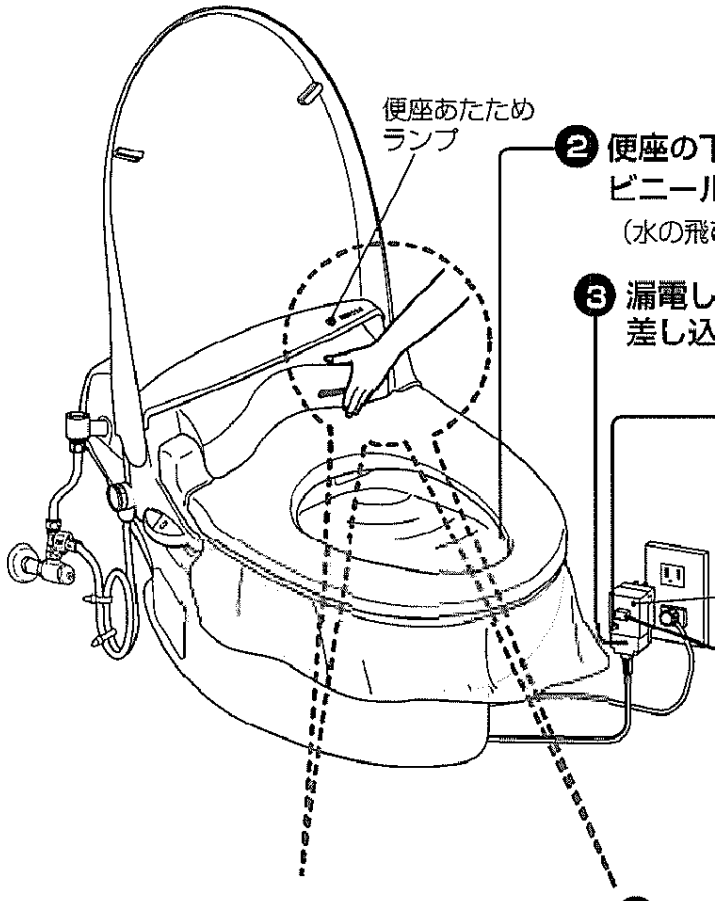
6 試運転

試運転の前に… 止水栓が開いていることを確認してください。
（十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります）
接続部から水もれがないかを確認してください。

手　順

❶ リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる





❷ 便座の下にお手持ちの薄手のビニールシートなどをはさむ
（水の飛び散り防止のため）

❸ 漏電しゃ断器のプラグをコンセントに差し込む

❹ テストボタンを押す
漏電しゃ断器が「切」の状態
（トワレ本体の電源ランプ消灯・漏電表示ランプ点灯）

漏電表示ランプ

❺ リセットボタンを「カチッ」と音がするまで押す
漏電しゃ断器が「入」の状態
（トワレ本体の電源ランプ約10秒間点滅後点灯・漏電表示ランプ消灯）

❻ 着座センサーに手をかざす
●着座センサーが作動し脱臭が始まります。

❼ そのまま手をかざしながら、リモコンの おしり（おしり）または ビデ（ビデ）を押し温水が出ることを確認する
（温水が出ない場合は、温水温度調節スイッチを押してください）
●止めるときは 停止（停止）を押す。
●便器自動洗浄が「入」になっていると着座センサーから手を離して約10秒後に自動で便器洗浄します。

❽ 取扱説明書に従って、各機能の確認をする

ご注意 ● 凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください。（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）

7 リモコン・人体センサーの取り付け

1 リモコンの取り付け

●リモコンの信号は、天井、壁、床などで反射し、本体のリモコン受光部 2 ページ で受信されます。
●黒または濃い色の天井や壁の場合は、受信しにくいことがあります。
●リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
●本体のリモコン受光部側 2 ページ に取り付けることをおすすめします。

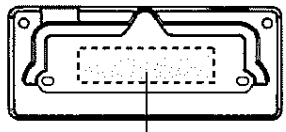
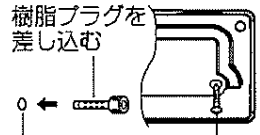
①取り付け位置を確認する

1.試運転で使用した、ビニールシートを便座の下にはさんで便座に座る。
（人体が受信をさまたげることがあるので、必ず使用状態で確認してください。）
2.お客様とご相談の上、使いやすい位置にリモコンを仮付けする。
3. [おしり] （おしり）または [ビデ] （ビデ）を押し、温水が出ること（リモコン信号の受信）を確認する。
受信しない場合は、位置を変更して再度確認する。

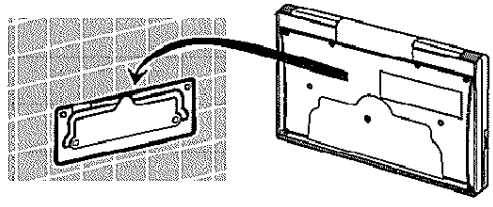
②リモコンからホルダーを外す

③ホルダーを壁面に取り付ける

〈リモコンホルダーの取り付け方例〉

A.接着の効く平らな壁材	B.ねじ止めできる壁材	C.ねじ止めできない壁材
●化粧合板 ●タイルなど	●各種合板 ●ビニールクロスなど	●石こうボード ●タイル ●コンクリートなど
 両面テープ ①ホルダーの裏面に両面テープ(同梱)を貼る ②壁面の汚れをとり貼りつける	 ねじ ●ねじ2本で壁面に取り付ける	 樹脂プラグを差し込む 下穴をあける（直径 6.5 mm 深さ 35 mm） ねじ

④リモコン裏面の溝を合わせて差し込む



2 人体センサーの取り付け

●人体センサーは熱の変化を検知し、便ふたの開閉を自動で行います。
●人体センサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、確実に人体を検知する位置に取り付けてください。
●黒または濃い色の天井や壁の場合は、受信しにくいことがあります。
●人体センサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
●トイレのパターン（トイレのドアと便器の位置関係）により、取付位置も異なります。トイレのパターンに合った位置に取り付けてください。

①取り付け位置を確認する

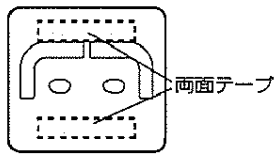
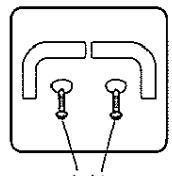
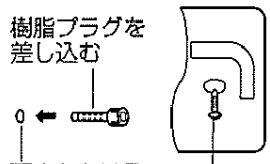
1.〈人体センサーの取り付け例〉を参考に人体センサーを仮付けする。14、15ページ
2.便ふたを閉じて、トイレから退出する。
3.1分以上経過後、トイレのドアを開けたらすぐに便ふたが開くことを確認する。
検知しない（便ふたが開かない）場合は、位置を変更して再度確認する。

②人体センサーからホルダーを外す

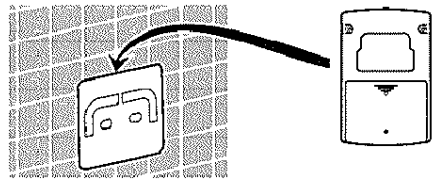
③ホルダーを壁面に取り付ける

（取付位置は右の取り付け例を参考にしてください。）

〈人体センサーホルダーの取り付け方例〉

A.接着の効く平らな壁材	B.ねじ止めできる壁材	C.ねじ止めできない壁材
●化粧合板 ●タイルなど	●各種合板 ●ビニールクロスなど	●石こうボード ●タイル ●コンクリートなど
		
①ホルダーの裏面に両面テープ(同梱)を貼る ②壁面の汚れをとり貼りつける	●ねじ2本で壁面に取り付ける	

④人体センサー裏面の溝を合わせて差し込む

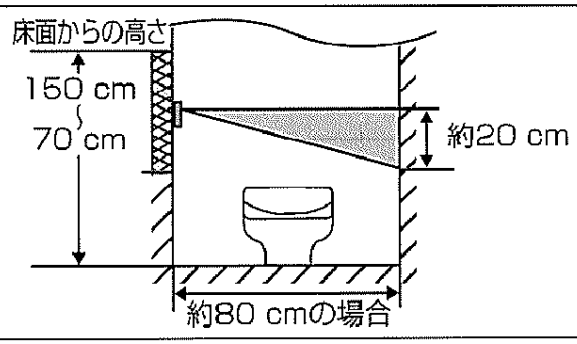


〈人体センサーの取り付け例〉 **※ドアを開けたらすぐに検知する位置に取り付けてください。**

▨ 取り付けるのに適した範囲です。　▭ 人体センサーの検知範囲の目安です。

取り付け高さ（どのパターンでも共通です。）

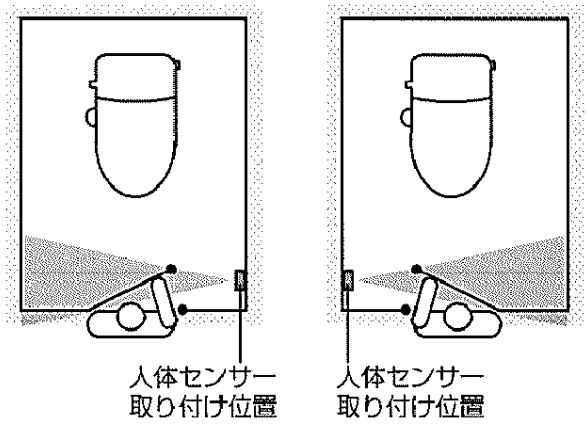
●小さなお子さまがおられる場合は、図に示した高さの範囲の低い位置に取り付けてください。
●人体センサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。



ドアが内開き

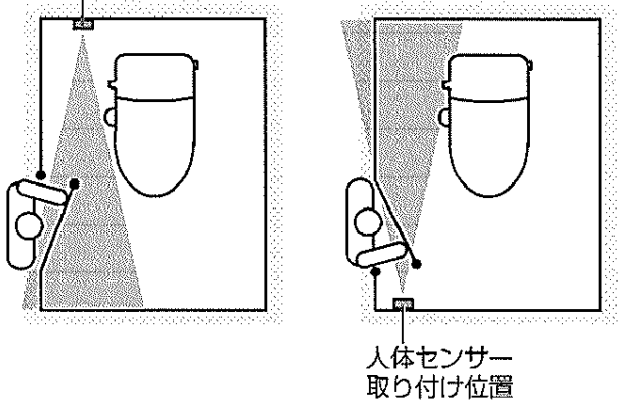
ドアの位置が便器の正面にあるとき

ドアが左開きの場合　　ドアが右開きの場合



ドアの位置が便器の側面にあるとき

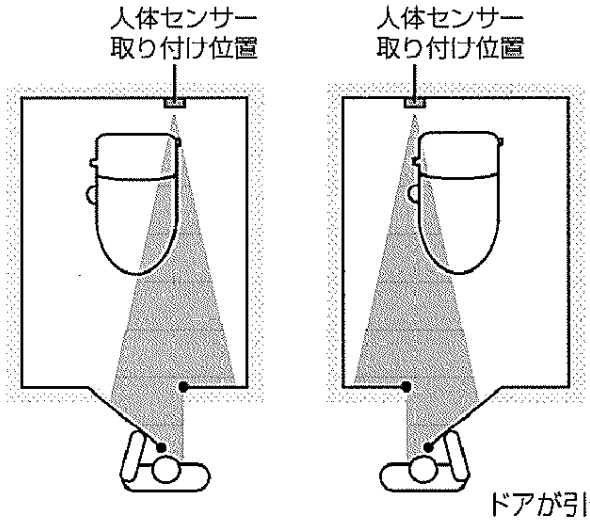
ドアが右開きの場合　　ドアが左開きの場合



ドアが外開き

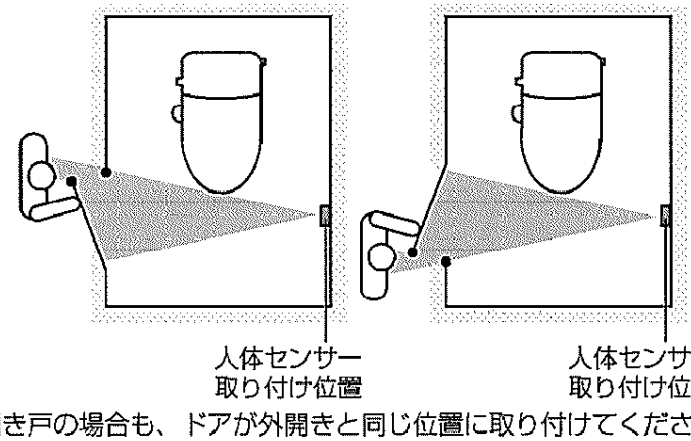
ドアの位置が便器の正面にあるとき

ドアが左開きの場合　　ドアが右開きの場合



ドアの位置が便器の側面にあるとき

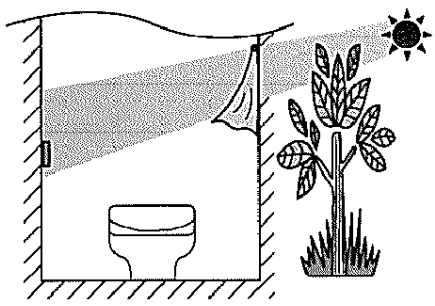
ドアが右開きの場合　　ドアが左開きの場合



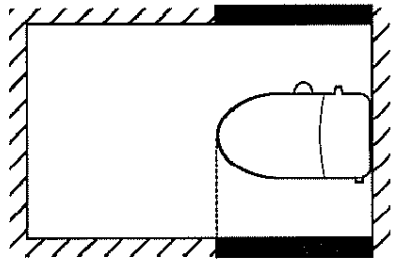
ドアが引き戸の場合も、ドアが外開きと同じ位置に取り付けてください。

ご注意 次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- 直射日光のあたるところ（カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられるとき、誤作動しやすくなります。）



- 暖房便座による熱の影響を受けやすいところ（右図の■部分）



〈人体センサーの試運転〉 人体センサーが正しく作動するか確認してください。

①便ふたを閉じる。
②3分以上経過後、14、15ページの人体センサーの検知範囲に入り、便ふたが開くと同時に、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する。
（ただし、室温が約30 ℃以上の場合はすぐに点灯します。）

8 こんなときは

現　象	考えられる原因と処置方法		
洗浄強さが弱い	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	—
	止水栓が開になっていない	止水栓を開にする	5-5
	水道水フィルターがつまっている	掃除する	取扱説明書
接続部から水もれする	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	—
	シールパッキンなどのずれ	ずれをなくす	—
	クリップがはめ込み不足	確実にはめ込み、先端もカチッと音がするまではめ込む	5-4
電源が入らない	漏電しゃ断器が「切」の状態	リセットボタンを押して「入」にする	6-試運転
電源ランプとあたためランプが交互に点滅する	● 止水栓が開になっていない ● 本体を取り付ける前に漏電しゃ断器のプラグをコンセントに差し込んだ	止水栓を開にする。 その後、再度試運転を行う	5-5 6-試運転
便器自動洗浄しない	便器自動洗浄が設定されていない	便器自動洗浄を設定する	取扱説明書
	便器自動洗浄発信部が汚れている	便器自動洗浄発信部をそうじする	
	便器と発信部の間に異物がはさまっている	異物を取りのぞく	
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する。		取扱説明書「保証とアフターサービス」の修理ご相談窓口にご連絡ください。	

工事後の注意

● 凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください。（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）

松下電工株式会社　ドレッシング事業部
〒571-8686　大阪府門真市大字門真1048